

平成 27 年度 琉球大学 2 次試験前期日程 (数学問題)

理・工・医・農・教育学部 平成 27 年 2 月 25 日

- 理・工・医・教育 [数学] 学部は, [1] ~ [4] 数 I・II・III・A・B (120 分)
- 農・教育 (学校教育 [教育実践学・技術・特別支援], 生涯教育 [自然環境科学]) 学部は, [5], [6] 数 I・II・A・B (60 分)

[1] 次の問いに答えよ.

(1) $F(x) = \int_x^{2x} e^t dt$ とするとき, $F(1)$ および $F'(x)$ を求めよ.

(2) 関数 $f(x)$, $g(x)$ が,

$$\begin{cases} f(x) + \int_0^x g(t) dt = 2 \sin x - 3 \\ f'(x)g(x) = \cos^2 x \end{cases}$$

を満たすとき, $f(x)$, $g(x)$ を求めよ.

[2] 関数 $f(x) = |x|\sqrt{1-x^2}$ ($-1 \leq x \leq 1$) について, 次の問いに答えよ.

(1) $f(x)$ の増減を調べ, 最大値, 最小値を求めよ.

(2) 定積分 $\int_{-1}^1 f(x) dx$ を求めよ.

[3] 確率 p ($0 < p < 1$) で「当たり」が出るくじを繰り返して引く. 2 回目の「当たり」が出たときにこの試行を終える. $n \geq 2$ として, n 回目でこの試行を終える確率を p_n とする. 次の問いに答えよ.

(1) p_2, p_3, p_4 を求めよ.

(2) p_n を求めよ.

(3) $N \geq 2$ として, $\sum_{k=2}^N p_k$ を求めよ.

[4] t を媒介変数として, $x = t + \frac{1}{t} + \frac{5}{2}$, $y = 2t - \frac{2}{t}$ で表される曲線を考える. 次の問いに答えよ.

(1) t を消去して, x と y の関係式を求めよ.

(2) a を定数とすると, 直線 $y = ax + 5$ とこの曲線との共有点の個数を調べよ.

5 次の問いに答えよ．

- (1) 3次方程式 $x^3 - ax - 6 = 0$ が $x = -1$ を解にもつとき，定数 a の値と他の解を求めよ．
- (2) $\log_2 \frac{1}{6} + \log_2 \frac{3}{4}$ の値を求めよ．
- (3) 平面上に3点 $O(0, 0)$ ， $A(1, \sqrt{3})$ ， $P(\cos \theta, \sin \theta)$ をとる． $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき，内積 $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OP}$ の最大値と，そのときの θ の値を求めよ．

6 頂点が点 $A(0, 4)$ で，点 $B(2, 0)$ を通る放物線を考える．次の問いに答えよ．

- (1) この放物線をグラフとする2次関数を求めよ．
- (2) この放物線上にあり， x 座標が $2a$ ($a > 0$) である点を C とする．この放物線と x 軸との交点で，点 B と異なる点を D とする．点 C における放物線の接線 l_1 と点 D における放物線の接線 l_2 との交点 E の座標を， a を使って表せ．
- (3) この放物線と直線 l_2 ，および点 E を通り y 軸に平行な直線で囲まれた部分の面積を求めよ．

正解

$$\boxed{1} \quad (1) \quad F(x) = \int_x^{2x} e^t dt = \left[e^t \right]_x^{2x} = e^{2x} - e^x$$

$$\text{ゆえに} \quad F(1) = e^2 - e \quad \text{また} \quad F'(x) = 2e^{2x} - e^x$$

$$(2) \quad \begin{cases} f(x) + \int_0^x g(t) dt = 2 \sin x - 3 & \cdots \textcircled{1} \\ f'(x)g(x) = \cos^2 x & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

①の両辺を微分すると

$$f'(x) + g(x) = 2 \cos x \quad \text{ゆえに} \quad f'(x) = 2 \cos x - g(x)$$

上の第2式を②に代入すると

$$\{2 \cos x - g(x)\}g(x) = \cos^2 x \quad \text{整理すると} \quad \{g(x) - \cos x\}^2 = 0$$

よって $g(x) = \cos x$ これを①に代入すると

$$\begin{aligned} f(x) + \int_0^x \cos t dt &= 2 \sin x - 3 \\ f(x) + \left[\sin t \right]_0^x &= 2 \sin x - 3 \end{aligned}$$

したがって $f(x) = \sin x - 3$

2 (1) $f(x) = |x|\sqrt{1-x^2}$ について

$$f(-x) = |-x|\sqrt{1-(-x)^2} = |x|\sqrt{1-x^2} = f(x)$$

したがって, $f(x)$ は偶関数である.

$x \geq 0$ において, $f(x) = x\sqrt{1-x^2}$ であるから

$$f'(x) = \sqrt{1-x^2} + x \times \frac{-x}{\sqrt{1-x^2}} = \frac{1-2x^2}{\sqrt{1-x^2}}$$

$f(x)$ の増減は, 次のようになる.

x	-1	...	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$...	0	...	$\frac{1}{\sqrt{2}}$...	1
$f'(x)$		+	0	-		+	0	-	
$f(x)$	0	↗	$\frac{1}{2}$	↘	0	↗	$\frac{1}{2}$	↘	0

よって $x = \pm \frac{1}{\sqrt{2}}$ のとき 最大値 $\frac{1}{2}$
 $x = 0, \pm 1$ のとき 最小値 0

(2) $f(x)$ は偶関数であるから

$$\begin{aligned} \int_{-1}^1 f(x) dx &= 2 \int_0^1 f(x) dx \\ &= 2 \int_0^1 x\sqrt{1-x^2} dx \\ &= \left[-\frac{2}{3}(1-x^2)^{\frac{3}{2}} \right]_0^1 = \frac{2}{3} \end{aligned}$$

3 (1) $q = 1 - p$ とおくと

$$p_2 = pp = p^2$$

$$p_3 = (pq + qp)p = 2p^2q = 2p^2(1 - p)$$

$$p_4 = (pqq + qpq + qqpp)p = 3p^2q^2 = 3p^2(1 - p)^2$$

(2) (1) と同様にして

$$p_n = {}_{n-1}C_1 pq^{n-2} \times p = (n-1)p^2q^{n-2} = (n-1)p^2(1-p)^{n-2}$$

(3) $1 + \sum_{k=2}^N x^{k-1} = \frac{1-x^N}{1-x}$ の両辺を x で微分すると

$$\sum_{k=2}^N (k-1)x^{k-2} = \frac{-Nx^{N-1}(1-x) - (1-x^N)(-1)}{(1-x)^2}$$

ゆえに
$$\sum_{k=2}^N (k-1)(1-x)^2 x^{k-2} = 1 - x^{N-1} \{N(1-x) + x\}$$

上式に $x = 1 - p$ を代入すると

$$\sum_{k=2}^N (k-1)p^2(1-p)^{k-2} = 1 - (1-p)^{N-1}(Np + 1 - p)$$

(2) の結果から

$$\sum_{k=2}^N p_k = 1 - (1-p)^{N-1}(Np + 1 - p)$$

4 (1) $x = t + \frac{1}{t} + \frac{5}{2}, y = 2t - \frac{2}{t}$ から

$$2x + y = 4t + 5, \quad 2x - y = \frac{4}{t} + 5$$

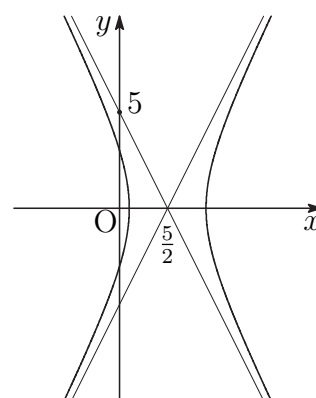
上の2式から, t を消去すると

$$(2x + y - 5)(2x - y - 5) = 16 \quad \text{ゆえに} \quad (2x - 5)^2 - y^2 = 16 \quad \dots (*)$$

よって
$$\frac{(x - \frac{5}{2})^2}{4} - \frac{y^2}{16} = 1$$

- (2) (1) で求めた曲線は, 双曲線 $\frac{x^2}{4} - \frac{y^2}{16} = 1$ を x 軸方向に $\frac{5}{2}$ だけ平行移動したもの. (*) から, この曲線の漸近線は $y = 2x - 5, y = -2x + 5$ (*) に $y = ax + 5$ を代入すると

$$(2x - 5)^2 - (ax + 5)^2 = 16$$



これを x について整理すると

$$(a^2 - 4)x^2 + 2(5a + 10)x + 16 = 0 \quad \dots (**)$$

- (i) $a = 2$ のとき, $y = 2x + 5$ は, (*) の漸近線に平行となるので, 求める共有点の個数は1個.
 (ii) $a = -2$ のとき, $y = -2x + 5$ は, (*) の漸近線と一致するので, 求める共有点の個数は0個.
 (iii) $a \neq \pm 2$ のとき, (**) の判別式を D とすると

$$\begin{aligned} D &= (5a + 10)^2 - (a^2 - 4) \cdot 16 \\ &= 9a^2 + 100a + 164 = (a + 2)(9a + 82) \end{aligned}$$

ゆえに $a < -\frac{82}{9}, -2 < a$ のとき 共有点の個数は2個

$a = -\frac{82}{9}$ のとき 共有点の個数は1個

$-\frac{82}{9} < a < -2$ のとき 共有点の個数は0個

(i) ~ (iii) から, 共有点の個数は

$$\left\{ \begin{array}{ll} a < -\frac{82}{9}, -2 < a < 2, 2 < a \text{ のとき} & 2 \text{ 個} \\ a = -\frac{82}{9}, 2 \text{ のとき} & 1 \text{ 個} \\ -\frac{82}{9} < a \leq -2 \text{ のとき} & 0 \text{ 個} \end{array} \right.$$

- 5 (1) $x^3 - ax - 6 = 0 \cdots (*)$ が $x = -1$ を解にもつから

$$(-1)^3 - a(-1) - 6 = 0 \quad \text{ゆえに} \quad a = 7$$

これを (*) に代入すると

$$x^3 - 7x - 6 = 0 \quad \text{ゆえに} \quad (x+1)(x+2)(x-3) = 0$$

よって、求める他の解は $x = -2, 3$

(2) $\log_2 \frac{1}{6} + \log_2 \frac{3}{4} = \log_2 \frac{1}{8} = \log_2 2^{-3} = -3$

(3) $\overrightarrow{OA} = (1, \sqrt{3}), \overrightarrow{OP} = (\cos \theta, \sin \theta)$ より

$$\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OP} = \cos \theta + \sqrt{3} \sin \theta = 2 \sin \left(\theta + \frac{\pi}{6} \right)$$

$0 \leq \theta < 2\pi$ より, $\frac{\pi}{6} \leq \theta + \frac{\pi}{6} < \frac{13}{6}\pi$ であるから

$$\theta + \frac{\pi}{6} = \frac{\pi}{2} \quad \text{すなわち} \quad \theta = \frac{\pi}{3} \quad \text{のとき} \quad \text{最大値} \quad 2$$

- 6 (1) 点 A(0, 4) を頂点とする放物線を $y = kx^2 + 4$ とおく (k は定数) .
これが点 B(2, 0) を通るから

$$k \cdot 2^2 + 4 = 0 \quad \text{ゆえに} \quad k = -1$$

よって、求める 2 次関数は $y = -x^2 + 4$

- (2) (1) の結果から $y = -(x+2)(x-2)$
放物線と x 軸との交点で点 B(2, 0) と異なる点 D の座標は (-2, 0)

$$y = -x^2 + 4 \text{ を微分すると } y' = -2x$$

放物線上の点 C(2a, -4a^2 + 4) における接線 l_1 の方程式は

$$y - (-4a^2 + 4) = -4a(x - 2a)$$

$$\text{すなわち} \quad y = -4ax + 4a^2 + 4 \quad \cdots \textcircled{1}$$

また、放物線上の点 D(-2, 0) における接線 l_2 の方程式は、 $\textcircled{1}$ に $a = -1$ に代入して $y = 4x + 8 \quad \cdots \textcircled{2}$

$\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ から y を消去すると

$$-4ax + 4a^2 + 4 = 4x + 8 \quad \text{ゆえに} \quad (a+1)x = a^2 - 1$$

$a > 0$ より、 $a+1 \neq 0$ であるから $x = a-1$

これを $\textcircled{2}$ に代入して $y = 4a+4$ よって、E の座標は $(a-1, 4a+4)$

- (3) 求める面積を S とすると、(2) の結果から

$$\begin{aligned} S &= \int_{-2}^{a-1} \{(4x+8) - (-x^2+4)\} dx \\ &= \int_{-2}^{a-1} (x+2)^2 dx \\ &= \left[\frac{1}{3}(x+2)^3 \right]_{-2}^{a-1} = \frac{1}{3}(a+1)^3 \end{aligned}$$

